

総合資源エネルギー調査会 資源・燃料分科会
鉱業小委員会（第10回）
議事要旨

日時：令和4年7月27日（水）17時00分～19時00分

場所：経済産業省 別館2階第238 各省共用会議室 及び WEB 開催

出席者：

○ 委員：

縄田小委員長、名井委員（WEB）、清水委員、松八重委員（WEB）

○ オブザーバー：

石井オブザーバー（代理：近藤専務理事）、細野オブザーバー（代理：霜鳥理事）、納オブザーバー（代理：矢島副会長・専務理事）、岩崎オブザーバー

○ 事務局：

定光資源・燃料部長、有馬鉱物資源課長、野崎鉱物資源課長補佐

議題1：国内海洋資源開発の推進に向けた方針について

資料4について事務局より説明後、委員、オブザーバーからの主な意見は以下のとおり。

（委員）

- ・合理的な提案であり賛成。
- ・海洋資源開発における環境評価は、陸上の鉱山と同様に国際的なルールの策定が必要。日本は世界に先駆けて海洋資源開発を進めているため、日本として望ましい環境アセスメントの方向を示し、国際ルール形成等をリードしていくことも将来的には検討する必要があるのではないか。日本が持続可能な海洋資源開発をしていることを示すことにもつながる。

（委員）

- ・海底からの採集物のうち、有用物として使える部分は1%から2%程度であり、残りは適切な処理が必要。検討をお願いしたい。

（委員）

- ・レアアースの権益確保という観点では今回の法改正をどう考えているか。

（事務局）

- ・環境面での配慮事項とルール形成について諸点賜った。海洋資源開発は民間事業者による事業開始まで相当時間を要すると思われるところ、事業化の状況も見ながら検討を進めていく必要があると考えている。
- ・今般、鉱業法にレアアースを規定し、勝手な開発を制限できるようになったため我が国の権益確保という意味で一歩進んだと考えている。

議 題 2： 鉱物資源の安定供給確保を巡る取組の現状と今後の課題

事務局およびJOGMECから、鉱物資源の安定供給確保を巡る取組の現状と今後の課題について説明。

委員及びオブザーバーの議論の後、終了。

■今後のまとめについては、委員長一任とする。

お問い合わせ先

資源エネルギー庁 資源・燃料部 鉱物資源課

電話：03-3501-9918

FAX：03-3580-8440